

鉄骨部材加工の「メタルプロダクツ」

モルドバ企業と業務提携

建設、インフラ分野など広範に

鉄骨二次部材加工を手掛けるメタルプロダクツ（本社・山形県室川町、社長・渡邊進

氏）は、東欧・モルドバ共和国のCOLASS S社と業務提携し、建設、インフラ、農業、ITなど幅広く連携していくことで10日に調印した。



渡邊社長（左）とモルドバ・COLASS社のアンドレイ氏

メタルプロダクツとモルドバの関係は渡邊社長が2014年にODA関連のバイオマス発電設備事業で鉄骨製作責任者として赴任したのがきっかけ。研修生受け入れなどを経て16年からモルドバに進出し、以降モルドバ国内外における需要対応の要望が年々高まって

いた。COLASS社はモルドバ周辺国への進出を展開しており、お互いの強みを生かせる判断した。

モルドバにおける純粋な日本資本の進出は同社のみで、モルドバ政府の意向もあり、今後の日本企業進出支援や事業展開におけるパイプ役として機能していきたいと考えた。

渡邊社長は「モルドバ進出から7年になり、現地のMPE（メタルプロダクツ・ヨーロッパ）が根付いてきた。現地では、各方面で日本企業や日本人に対する印象も良く、受け入れに積極的だ。今

回の共同声明を足がかりに積極的に行動したい」と話しており「同時に、海外拠点で得た

情報、知識、経験を国内事業に取り入れることでお客さまに役立てていきたい」としている。

